

# 総務教育常任委員会資料

(平成21年7月21日)

## 【件名】

- 1 「心とからだ いきいきキャンペーン」の推進について（教育総務課）…1
- 2 県立米子工業高等学校改築工事（建築A・C工区）の杭工事の変更について  
（教育環境課）…2
- 3 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…5
- 4 特別支援学校における教育の在り方の検討について（特別支援教育課）…6
- 5 平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験（第一次選考試験）  
選考基準の公表について（高等学校課、小中学校課、特別支援教育課）…8
- 6 家庭教育推進協力企業200社達成について（家庭・地域教育課）…10
- 7 あなたも弥生のお菓子職人！レシピ・アイデア募集事業について  
（文化財課）…11

教育委員会

# 「心とからだ いきいきキャンペーン」の推進について

平成21年7月21日  
教育総務課

## 1 趣旨

子どもたちの望ましい生活習慣の定着を図るため、県教育委員会が平成17年7月から重点的に取り組んでいる「心とからだ いきいきキャンペーン」(以下、「キャンペーン」という。)について、保護者の認知度の向上及び一層の浸透をはかるため、以下のとおり啓発事業を実施する。

### 《キャンペーン概要》

キャンペーンの 6つの柱	① しっかり朝食を食べよう ②じっくり本を読もう ③外で元気に遊ぼう ④たっぷり寝よう ⑤長時間テレビを見るのはやめよう ⑥服装を整えよう
-----------------	--

※保護者のキャンペーン認知率 ⇒ H19:37.8%、H20:41.3%  
(学校の認知度はH19時点で99.5%であり、H20は調査実施していない)

## 2 啓発事業

### (1) 「いきいきキャンペーンサポーター(メールマガジン読者)」の募集

これまでの「推進会議(キャンペーンの趣旨に賛同し、自ら取り組みを実践する団体)」を通じた啓発・推進から発展させ、いきいきキャンペーンサポーターとして登録いただいた方に県教委からメールマガジンの配信による各種事業等の情報提供を行っていくもの。

#### 《メールマガジン概要》

- ・配信頻度 月1回(初回配信は7月下旬)
- ・内 容 巻頭コラム(教育委員、教育長等)、県教委メッセージ、サポーター等からの様々な活動・取組、教育ニュース など
- ・登録方法 鳥取県教育委員会ホームページの登録フォームにより申込  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/kyouikumailmaga>

### (2) 「いきいきキャンペーンかるた」の作成及び標語(読み札)の募集

キャンペーンの趣旨に関することを標語として短い言葉でまとめ、イラストを付して「いきいきキャンペーンかるた」を作成し、特に園児や児童が楽しみながら望ましい生活習慣を身につけられるよう、幼稚園・保育園(所)、学校等に活用していただく。

標語(読み札)については、夏休み期間に県内小学校及び特別支援学校の小学部の児童から募集し、生活習慣等について親子で改めて話し合う契機とする。

#### 《かるた作成概要》

- ・規格、枚数 縦9cm×横6cm、1セット44枚(予定)
- ・完成時期 平成21年12月(予定)

#### 《標語(読み札)募集概要》

- ・応募資格 県内小学校及び特別支援学校の小学部の児童
- ・作品の内容 基本的な生活習慣、社会のルール・マナーなどを標語として表したもの
- ・審査・表彰 応募作品の先頭の文字(「あ」～「わ」までの44文字)ごとに原則1点を決定し、かるた標語(読み札)として採用する。  
※特に秀逸な作品は県教育長賞として表彰し、今後のいきいきキャンペーンの広報にも活用する。  
※採用作品には表彰状及び副賞(図書カード2,000円分)を贈呈する。
- ・募集期間 平成21年7月24日(金)～9月16日(水)
- ・応募用紙 学校を通じて児童生徒に配布する

## 県立米子工業高等学校改築工事（建築 A・C 工区）の杭工事の変更について

平成 21 年 7 月 21 日  
教 育 環 境 課

杭工事施工中に C 棟予定位置の一部で、設計時（平成 18 年）の地質調査では確認されなかった岩盤が確認されました。

A 棟及び C 棟部において現杭打機では貫入不可能な杭が多数発生したことから、杭打機の機種を変更して杭打設を実施しなければならなくなったため、杭工事の変更について報告します。

### 1 工事概要

工 事 名：県立米子工業高等学校改築工事（建築 A・C 工区）

工 期：平成 21 年 2 月 5 日～平成 22 年 10 月 31 日

請 負 額：1,191,120,000 円

建 物 概 要：A 棟 RC 造 4 階建て 延べ床面積 2,807 m<sup>2</sup>（普通教室、図書室等）  
C 棟 RC 造 4 階建て 延べ床面積 4,879 m<sup>2</sup>（実習室等）

### 2 施工業者 松本・金田・平田 特定建設工事共同企業体

代表者 有限会社松本組 代表取締役 松本雄次

### 3 杭設計・施工の経緯

#### <設計時>

平成 19 年 10 月

設計段階では 8 ヲ所の地質調査データ（別図 BP1～BP8）を基に杭工法の検討を行い、中間層（砂礫層）及び支持層（風化凝灰岩）の掘削は鋼管回転圧入工法で十分施工可能であると判断した。

#### <施工時>

平成 21 年 5 月 12 日～

平成 21 年 5 月 22 日

試験杭のプレボーリング及び打設開始（試験杭 7 本）  
C 棟予定位置内で杭打機貫入不能なため、掘削調査により岩盤を確認することとした。

平成 21 年 5 月 25 日～

平成 21 年 5 月 29 日

岩盤調査（調査ボーリング）  
調査ボーリングにより支持層として活用できる岩盤であると判明

平成 21 年 6 月 9 日～

杭の全箇所でのプレボーリングを実施し、施工可否の調査を開始

平成 21 年 6 月 17 日～

プレボーリング完了 貫入不可能箇所 65 本を確認  
（A 棟：9/62 本 C 棟：56/88 本）

対応策の検討開始

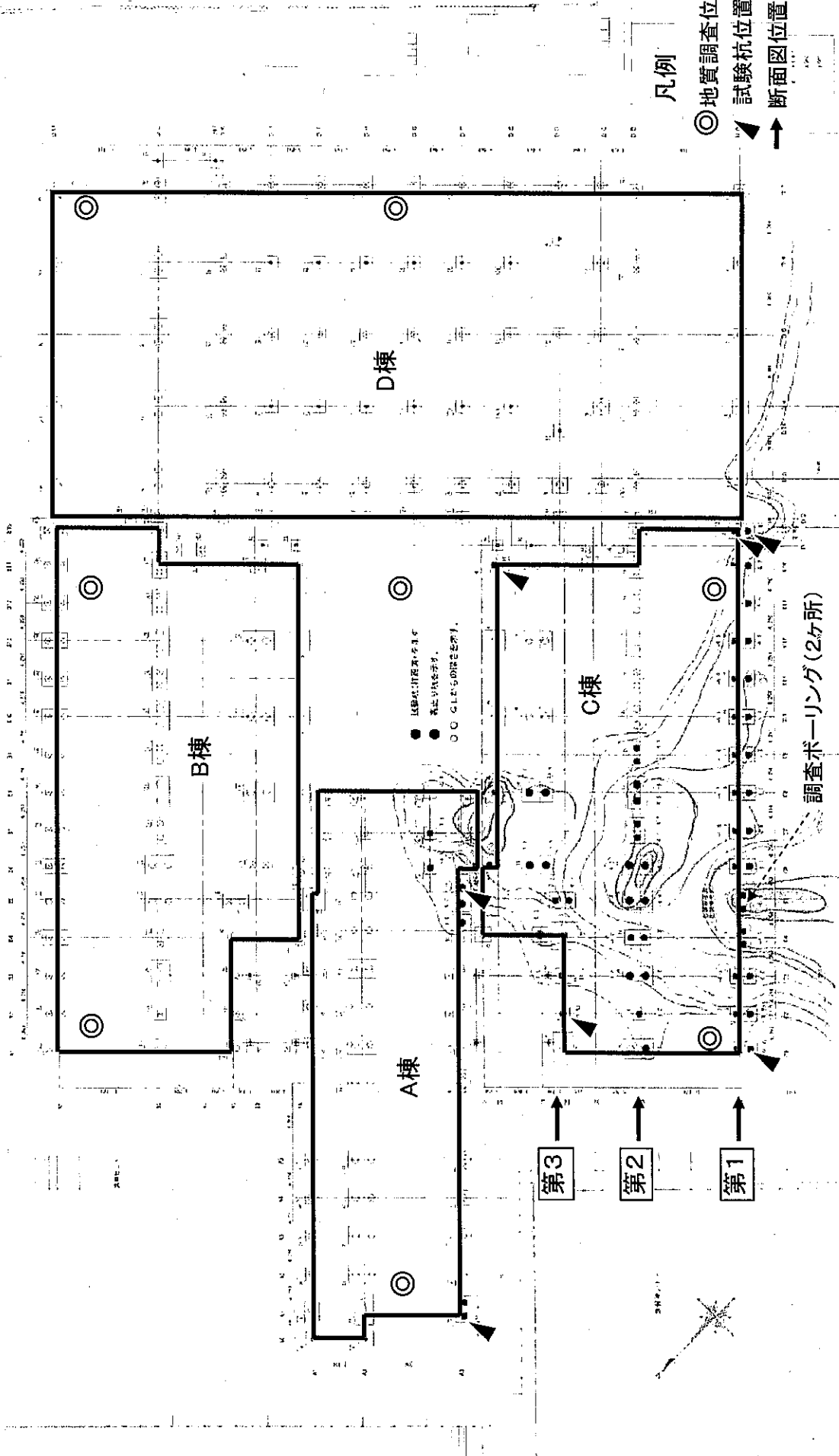
平成 21 年 6 月 25 日

杭打設を一時中止

### 4 杭打設工法の変更

- ・地盤面から支持層である岩盤面までの深さが浅い部分については、構造計算の結果岩盤に穴を開け一定の杭長を確保する必要があることが判明。
- ・この岩盤に穴を開ける工事は、現在の杭打機では施工できないため新たな岩盤掘削用杭打機の導入が不可欠となり、工期の延長もありうる。

フレポーリング調査図 S=1/400

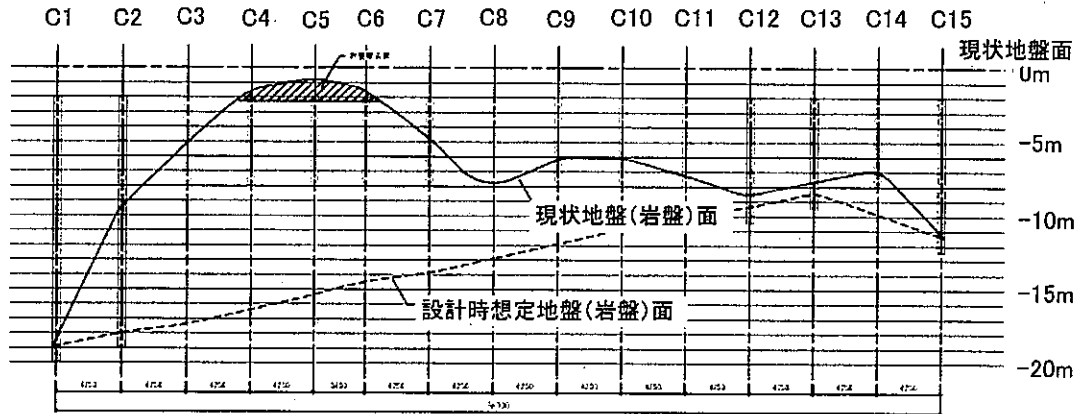


調査ポーリング(2ヶ所)

地下の岩盤隆起想定図

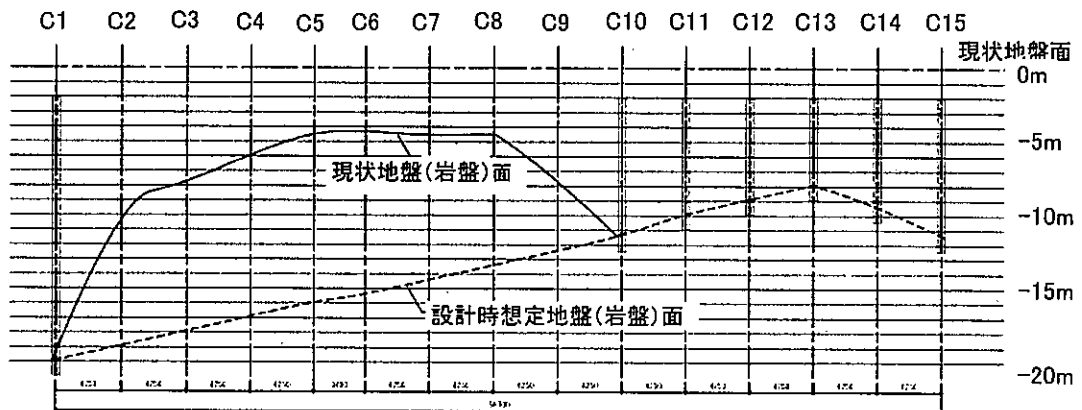
**第1** 現況地盤断面図(C棟CA通り)

- 杭: 既設杭(設計通り)
- 杭: 既設杭長さ加工
- 杭: 新規杭(6.0m)



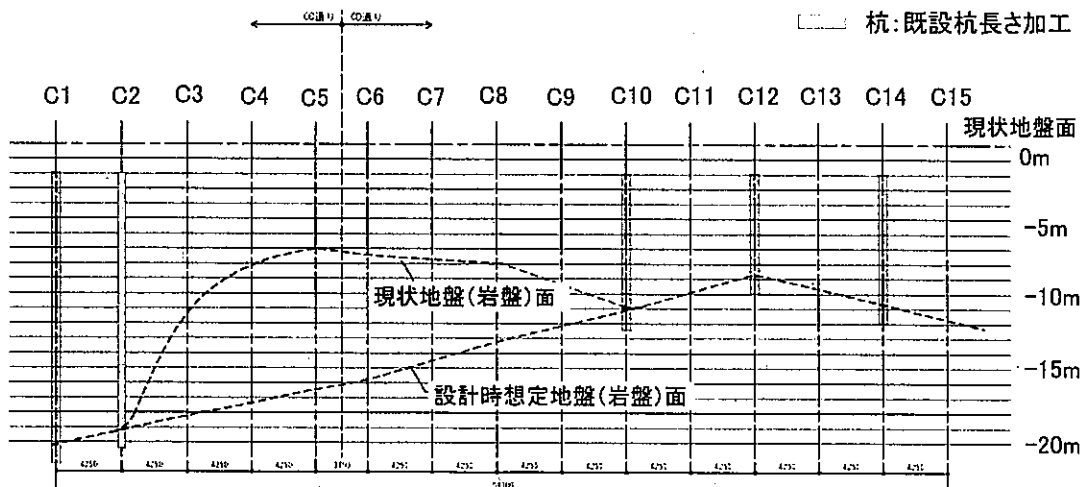
**第2** 現況地盤断面図(C棟CB通り)

- 杭: 既設杭(設計通り)
- 杭: 既設杭長さ加工



**第3** 現況地盤断面図(C棟CC/CD通り)

- 杭: 既設杭(設計通り)
- 杭: 既設杭長さ加工



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成21年7月21日

教 育 環 境 課

工事名	県立米子白鳳高等学校体育館耐震改修他工事
工 事 場 所	米子市淀江町福岡
契約の 相手方	大松建設株式会社
契 約 金 額	113,925,000円
工 期	平成21年 6月29日～ 平成22年 2月20日
契 約 年 月 日	平成21年 6月29日
摘 要	

## 特別支援学校における教育の在り方の検討について

平成21年7月21日  
特別支援教育課

### 1 第2回特別支援学校における教育の在り方検討委員会の概要

- (1) 日 時：平成21年6月23日（火） 午後10時～11時30分
- (2) 出席者：13名（委員15名）
- (3) 内 容

○高等特別支援学校や分校・分教室についての共通理解を図り、設置形態について協議

#### ＜設置形態について＞ 3つのプランを提案

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 【プランA】 | 高等特別支援学校（廃校舎の利用） |
| 【プランB】 | 3圏域に分教室（空き教室の利用） |
| 【プランC】 | 3圏域に分校（廃校舎の利用）   |

⇒ 検討委員会では、プランA『高等特別支援学校設置』が望ましいのではないかと  
との意見

### 2 高等特別支援学校等設置についての説明会の概要

5月に実施したアンケート結果から、高等特別支援学校や分校分教室についての保護者等の理解が十分ではないことを把握。そこで、県内3地区で理解啓発のための説明会を実施。

#### ○参加者等について（参加者総数 168名）

- ①日 時：平成21年7月2日（木）、7月3日（金）
- ②会 場：〔東部〕県教育センター 〔中部〕中部総合事務所 〔西部〕西部総合事務所
- ③参加状況：保護者、学校関係者、関係機関、一般県民 計168名

#### ○主な意見

- ・5月のアンケート調査ではそれぞれのことがよくわからなかった。説明を聞いて高等特別支援学校に考えが変わった。
- ・現在の特別支援学校は出口に特化した学校がない。パイロット的な存在として、高等特別支援学校の設置を望む。
- ・新しい学校を造る金で、今ある特別支援学校の高等部を拡充させる方が良いのでは。
- ・すばらしいことだと思うけど、県内のどこに設置されるのか。やはり自宅から通わせたい。

### 3 高等特別支援学校に係る県外視察〔大阪府・兵庫県〕の概要

視察者 在り方検討委員会委員等7名

#### (1) 大阪府立たまがわ高等支援学校 <視察日：6月11日（木）>

- ・高校再編で統合され空いた校舎を活用し、平成18年度に開校。
- ・改修費約9億円。
- ・今春、初めての卒業生。就職率82%（37人/45人）

#### (2) 兵庫県立高等特別支援学校 <視察日：6月12日（金）>

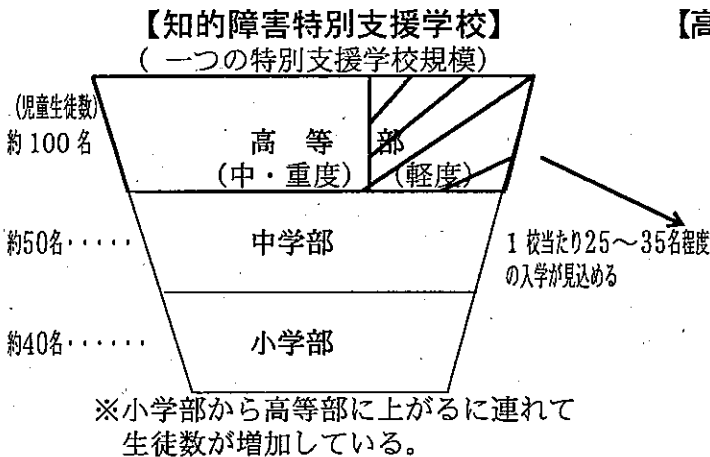
- ・病弱特別支援学校の空き教室を利用し、平成8年に開校。寄宿舎を併設。
- ・入学希望者が多い。（説明会（約300名）→入学相談→体験入学→入学選抜（約70名）→合格者（40名））
- ・就職率は71～95%（過去5年間）

### 4 今後のスケジュール

再度保護者アンケートを実施するとともに、パブリックコメントの実施などにより、関係者のニーズを十分に聴取し、検討委員会の意見等を総合的に勘案して、設置形態や機能、規模等を検討していく。

# 「高等特別支援学校」、 「既存校の分校・分教室」 とは

- 軽度の知的障害のある生徒が学ぶ高等部のみの学校(教室)
- 社会自立と就労を目指した教育を中心とする学校(教室)
- 特別支援学校の中の職業高校的な位置づけの学校(教室)



## 【高等特別支援学校又は既存校の分校・分教室】

### 高等部のみ

- ・軽度の知的障害生徒を対象に職業教育を中心とした学習を実施

(高等特別支援学校 例) 廃校舎活用

- ・1クラス8名 1年4クラス 全校規模:12クラス 96名
- ・施設設備を整備

(分校 例) 廃校舎の活用

- ・1クラス8名 1年2クラス 全校規模:6クラス 48名
- ・施設設備を整備

(分教室 例) 県立学校の空き教室活用

- ・1クラス8名 1年1クラス 全校規模:3クラス 24名
- ・県立学校の施設設備を借用

	高等部	高等特別支援学校又は既存校の分校・分教室
1 入学資格	・知的障害がある ・中学校若しくは特別支援学校中学部を卒業した者又は3月末卒業見込みの者	同 じ
2 障害の程度	・知的障害の重い生徒から軽い生徒まで多様化	・軽い知的障害
3 入学について	・希望する者は全員入学	・選抜試験を実施(学力検査、実技検査、面接等)
4 学習内容	・障害の程度に応じて、日常生活の指導から職業教育まで実施 ・軽度の生徒には作業学習の時間を多くし、木工、窯業等を通じた職業教育に重点	・全授業時数の半分以上で職業教育を実施 ・食品加工(パン、クッキー等製造)、クリーニング、ビルメンテナンス等設備を整えて、質の高い教育を実施 ・実生活に役立つ教科指導も充実
5 授業料	なし	なし
6 卒業後の進路	・作業所で作業したり福祉施設に入所する者から一般就労する者まで多様	・一般就労を目標

### <参考>

- 26の都道府県市が高等特別支援学校を設置
- 中国・四国地方では岡山県がH21年度に1校設置し、H22年度に更に1校開設予定
- 分校・分教室は島根県がH21年度に松江養護学校安来分教室を設置



# 平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験（第一次選考試験） 選考基準の公表について

平成21年7月21日  
高等学校課  
小中学校課  
特別支援教育課

## (1) 公表内容

別紙のとおり

## (2) 公表期日

平成21年7月6日に鳥取県教育委員会ホームページに別紙を掲載するとともに、同日、記者発表を実施。

## (3) 参考（経緯）

平成21年2月13日に開催された定例教育委員会において、平成22年度教員採用候補者選考試験に係る改善検討状況について、以下のとおり報告。

本県の教員採用候補者選考に当たり、透明性、公平性を一層高めるために、平成21年度採用選考試験で既に改善した点に、新たな改善点を加え、平成22年度採用選考試験から以下の6点を実施することとする。また、今後も適宜見直しを行うこととする。

注：〈新〉は、平成22年度採用選考試験から実施する改善点で、それ以外は平成21年度採用選考試験で既に改善した点。

### ① 試験問題・解答例・配点の公表

- ・筆記試験の配点の公表
- ・〈新〉非公表であった一意に定まらない解答についても解答例を公表
- ・試験問題、解答例、配点をHPで公開

### ② 〈新〉採用選考基準の公表

【第一次選考試験】

- ・面接試験の評価の観点及び評価基準の公表
- ・教育問題に関する討議の評価の観点及び評価基準の公表
- ・各試験の満点の得点の公表

【第二次選考試験】

- ・面接試験の評価の観点及び評価基準の公表
- ・模擬授業の評価の観点及び評価基準の公表
- ・各試験の満点の得点の公表

### ③ 選考の各段階における不正防止チェック

- ・採用判定時に受験者の匿名化を図る
- ・〈新〉選考業務担当課以外の教育委員会事務局の職員による、答案の得点・評価表の評価と選考資料の突合（第一次選考試験及び第二次選考試験）

### ④ 公正な面接試験の確保

- ・面接官（事務局・民間）に対する評価者研修会の充実

### ⑤ 関係文書の保存期間の見直し

- ・〈新〉鳥取県教育委員会文書等の整理、保管及び保存に関する規程の改正

### ⑥ その他の不正防止のための措置

- ・教育委員による選考プロセスの点検
- ・〈新〉教育委員会事務局以外の機関との選考プロセスに関する意見交換の実施

# 平成22年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験（第一次選考試験）選考基準

## ○選考方法

第一次選考試験においては、一般教養・教職教養筆記試験、志願する教科等に関する筆記試験、技能・実技試験等、面接試験、その他提出された書類等により総合的に判定する。

## ○各試験の選考基準等

試験項目	校種・職種	選考基準				評価	満点				
		評価の観点	評価の主な着眼点	中学校教諭 高等学校教諭	特別支援学校 教諭		特別支援学校 理療科教諭	養護教諭			
筆技 記述 試験 実技 試験 一般教養・教職教養 国語、社会、数学、理科に関する専門試験 及び技能・実技試験 特別支援教育に関する専門試験 及び技能・実技試験 志願する教科（科目）に関する専門試験 ＊ 特別支援教育及び理療に関する専門試験 ＊ 養護に関する専門試験 ＊	全校種・職種										
	小学校教諭										
	特別支援学校教諭										
	中学校教諭 高等学校教諭										
	特別支援学校理療 科教諭										
教育問題に関する討議 9	中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭	①教育問題、児童生徒に 対する理解力	・教育に関する問題に関心をもち、自分なりの考察を行っているか ・児童生徒の現状を的確に把握し、理解しているか								
		②思考力・分析力	・多面的かつ柔軟に思考・分析することができるか ・解決方法を具体的に構想することができるか								
		③説明力・発表力	・他者の意見を踏まえつつ、自分の考えを的確に説明できるか ・客観性、具体性があり、説得力のある説明ができるか								
面接試験（集団面接）	小学校教諭 特別支援学校教諭	①教育に対する情熱・ 教員としての使命感	・教育的愛情・信念を持って児童生徒に接しようとしているか ・教員としての誇り、責任感を持って教育に携わろうとしているか ・常に向上心を持って自己研鑽に努めようとしているか								
		②教育の専門家としての 指導力	・児童生徒の思いや立場を理解する力を有しているか ・教科等の専門性を生かした的確な指導を行うことができるか ・児童生徒の真態を踏まえながら適切に学級経営を行うことができるか								
		③豊かな人間性・社会性	・感性豊かで暖かく、人間的な魅力を有しているか ・豊かな教養と人権意識を身につけ、バランスのとれた判断ができるか ・社会人としての常識、規範意識を有しているか ・礼儀やマナーをわきままえ対応ができるか								
		④チャレンジ性・協調性	・今日的な教育上の課題に対して、チャレンジ精神を持って取り組むことができるか ・幅広い視点で物事に柔軟に対応することができるか ・組織の一員として、協力しながら教育活動に取り組むことができるか								
		⑤人間関係能力	・明朗で、丁寧に対応することができるか ・相手の考えを受け止めながら、自分の考えを的確に伝えることができるか								
特別支援教育及び理療に関する面接（個人面接）	特別支援学校理療 科教諭										

＊ 技能・実技試験を実施する教科・科目の満点の点数には、当該技能・実技試験の点数を含む。

掲載アドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=117218>

# 家庭教育推進協力企業200社達成について

平成21年7月21日  
家庭・地域教育課

## 1 概要

家庭教育の充実に向けた職場環境づくりに自主的に取り組む企業と県教育委員会が協定を結び、協力しながら本県の家庭教育を推進する「鳥取県家庭教育推進協力企業制度」の協力企業が、7月24日の新規協定締結予定23社により、累積協定締結社が207社（うち倒産等による解約4社）となります。

## 2 新規協定締結企業（23社）

1	倉吉信用金庫	倉吉市	11	サラダ館青谷店やまだ	鳥取市
2	株式会社 衣笠商会	倉吉市	12	株式会社 鳥取マツダ	鳥取市
3	株式会社 セイコ製作所倉吉工場	倉吉市	13	医療法人 十字会	倉吉市
4	鳥取中央有線放送株式会社	琴浦町	14	有限会社 山本板金工作所	鳥取市
5	パープルタウン株式会社	倉吉市	15	中国労働金庫倉吉支店	倉吉市
6	有限会社 シナリーシンデレラ	倉吉市	16	社会医療法人 明和会医療福祉センター	鳥取市
7	有限会社 池原建材店	鳥取市	17	有限会社 浜本石油店	鳥取市
8	株式会社 中尾税経総合事務所	鳥取市	18	株式会社 日照プレス	鳥取市
9	株式会社 ハラペン	鳥取市	19	東部タクシー株式会社	鳥取市
10	有限会社 池原工業	鳥取市	20	財団法人 鳥取県保健事業団	鳥取市
			21	東伯シティ株式会社	琴浦町
			22	有限会社 エフエムエルサービス	鳥取市
			23	学校法人 鳥取県東部自動車学校	鳥取市

## 3 地域別協定締結企業数

東部	87社
中部	85社
西部	31社
計	203社

（※解約4社を除く）

## 4 協定締結実績

H17	H18	H19	H20	H21	計
5社	57社	64社	58社	23社	207社

## 5 平成21年度第1回協定証授与式

- ・ 日時 平成21年7月24日（金）午後1時30分から2時30分
- ・ 場所 教育委員室
- ・ 内容 協定証授与、教育長あいさつ、受証者一言コメント・意見交換、記念撮影

## 6 今後の取組

- （1）引き続き、商工会議所、青年会議所等への制度についての説明及び協力の呼びかけの実施。
- （2）協力企業からの他の企業の紹介依頼。

# あなたも弥生のお菓子職人！レシピ・アイデア募集事業について

平成21年7月21日  
文化財課

## 1 趣 旨

妻木晩田遺跡や、青谷上寺地遺跡といった、日本有数の弥生時代遺跡へ親しみ、その保護と活用に興味を持ってもらうきっかけとして、食をテーマとしたイベントを開催するにあたり、弥生時代の暮らしをイメージできるお菓子のレシピ・アイデアを募集するもの。

## 2 応募期間 平成21年7月20日から平成21年9月30日まで

## 3 募集の内容

### (1) レシピ部門

実際にお菓子が完成するまでのレシピを募集するもの。これは、「弥生時代にあった果物や植物を材料として1品以上使用すること」を条件とする。

### (2) アイデア部門

「こんなお菓子があったらいい」というアイデアを募集するもの。  
制限は設けず、自由な発想で挑戦してもらう。

## 4 作品の取扱い

入賞作品をパネルにした巡回展示や、レシピカードの配付を行い、多くの方の目にふれるよう周知していく。

また、入賞作品のレシピ・アイデアを元として、実際にお菓子を作り、イベント開催時などの機会に来場者へ提供する。

## 5 副 賞

部門ごとに団体からの協賛を得て以下の賞を設け、弥生遺跡に関する副賞を入賞者へ贈る。

また、中学生以下の応募者には、全員に参加賞を贈る。

賞の名前	賞の点数
む き ば ん だ 賞	各部門1点
青 谷 か み じ ち 賞	各部門1点
妻木晩田物産振興会賞	各部門1点
青谷町地域活性化委員会賞	各部門1点
弥 生 賞	各部門で若干点

## 6 審 査

料理研究家、考古学関係者、地元団体等からなる審査会において、入賞作品の選出を行う。